

鹿屋市立鹿屋看護専門学校は豊かな人間性を培い看護師として必要な知識・技術・態度を修得させ、保健・医療・福祉チームの一員として、地域社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的に昭和51年看護婦養成機関を設置し、昭和53年看護婦養成所として厚生大臣指定を受け、鹿屋市立鹿屋看護専門学校2年課程定時制として開校しました。

課程看護学科の2学科を併せ持つ学校となりました。平成17年3月に高等課程の准看護学科を閉課し、平成20年3月に専門課程の看護学科も閉課しました。そして、平成20年4月2年課程定時制から3年課程全日制へ課程変更し、平成22年4月現在で学生数は91人です。

小規模専門学校ですが基礎分野・専門基礎分野・専門分野（Ⅰ・Ⅱ）・統合分野のカリキュラム編成において、技術演習や看護学実習など小人数の長所を生かした学習方式を導入。そして知識と技術を統合し実践できる能力を養うため多様な教育プログラムにより看護師養成所としての学びの場を提供しています。

医療現場に 有用な 人材を

送り出す



校訓
博愛
努力
責任

◆校章の十字は博愛の精神を示し、看護の仕事は、いつでも、誰にでも、公平に仕えることを、しかも愛深く、また自らすすんで患者を含めた他者に従順に尽くすことを意味しています。また、校章の中心は鹿屋市「かのや」をデザイン化した鹿屋市章で鹿屋市立を示し、校章の青色は、複雑な看護業務の中にあって、純粋に真実（真の看護）を求める希望を表しています。

◆校訓は、博愛・努力・責任です。



特集

「市立看専」の魅力

多くの市民から「看専」と呼ばれ親しまれている鹿屋市立鹿屋看護専門学校は、昭和53年4月に開校。平成20年4月に3年課程全日制に課程変更し、今年で3周年を迎えました。

これまでに送り出した専門課程の卒業生は907人。これまで医療分野で活躍する人材を輩出し、地域医療の発展に貢献している「看専」の魅力を紹介します。

【問い合わせ】 鹿屋市立鹿屋看護専門学校 ☎ 0994-44-6360・6361
〒893-0064 鹿屋市西原4-7-40

